

いへり、○下略

〔日本靈異記上〕嬰兒驚所擒以後國得逢父縁第九

家主答言、其年其月日之時、余登于柿鳩之樹而居、驚擒嬰兒從西而來落巢、養鵓慄啼、彼鵓望之驚恐

不喙○中略

鵓比ナノ  
爾コナノ

〔本朝世紀〕天慶五年四月七日庚申、神祇少祐大中臣正直奉白鳥、雛於藏人所、入籠、是件正直宅樹作巢所生也、

〔藤原元真集〕人の子うみたる七夜

雲井にも今ぞまつらんあしべなる聲ふりたつる鶴のひなどり

瑞鳥

〔延喜式治部二十一〕祥瑞

比翼鳥狀如鳥、一翼一目、不比不飛、同心鳥、永樂鳥五色或文、丹喙赤頭、頭富貴、鳥形、吉利鳥形、獸頭

小鳥生大鳥略○中 右中瑞

〔續日本紀元八〕養老五年正月戊申朔、尾張國言、小鳥生大鳥、

〔日本後紀二十二〕弘仁三年六月癸丑、小鳥生大鳥、

〔享保集成絲綸錄二十〕享保三戊年七月

覺

一御拳場并御留場殺生御制禁之儀、依致中絶候鳥無之、御用に難立に付、今年より子年迄三ヶ年之内、左之通被仰出候事、

一鶴、白鳥、菱喰雁鴨なま鳥、鹽鳥共に、三ヶ年之内は、獻上候儀無用に可仕候、此外之鳥上ダ來候は、不苦候事、

鳥獻上